

# 専大スポーツ

No. 362

大会結果 予定は体育会ホームページ「専大ホーム」から確認してください  
専大スポーツ編集部 web (http://sensup.web.fc2.com) 大会結果を配信しています

## ハツラツ 1、2年次生が活躍 12年ぶり2回目のV



▶ 豪快なダンクを決めるフィリップ (拓大戦) 撮影・斉藤

京王電鉄杯10大学バスケットボール・チャリティマッチ 4月9〜17日、エスフォルタアリーナ八王子

専大は、Aブロック3勝1敗の1位で最終日を迎え、Bブロック1位の青学大に勝利し、12年ぶり2回目の優勝を果たした。今大会は10校が2ブロックに分かれてリーグ戦を戦い、最終日に同順位のチームが対戦し、順位が決まる。

初日から、新入生のアブ・フィリップ (経営1・アレセイア湘南高) が豪快なダンクシュートで会場を沸かせると、同じく新入生の盛實海翔 (商1・能代工高) も連続ポイントで存在感を發揮し、勝利に貢献した。野口夏来 (経済2・福岡大附大濠高) や大沢希晴 (経営2・長野俊英高)

は高さを生かして相手のシュートをブロック。渡辺竜之佑主将 (経営4・福岡第一高) も3ポイントシュートやゴール下の粘り強いプレーでチームを牽引した。

青学大戦は、相手ディフェンスに苦しめられながらも、時間をかけてパスをつなぎ、丁寧な攻撃で確実に得点。ディフェンスでも失点を最小限に抑え、勝利を手にした。

佐々木優一監督は「失点を防ぐことができたのが青学大戦の勝因。全体的に見ると、オフェンスを満足にできていない試合が少ないので、ディフェンスの意識と合わせて力を高めたい。この『優勝』を自信にして、自分たちの良いところを伸ばしていくと話した。」 (富樫幸恵・文2)



大と順調に勝利を収めベスト8に進出。ベスト4をかけた早大戦では、相手に高い位置からのプレッシャーをかけられ、ミスを連発。ディフェンスでは3ポイントシュートを止めることができず、84-92で敗れ、5〜8位の順位決定戦に回った。順位決定戦初戦の青学

大躍進5位

関東大学バスケットボール選手権 4月23日〜5月8日、代々木第二体育館ほか

昨年の11位から大きく

## 男子 優勝を逃す

### 3年連続 決定戦進出も



▲ 優勝決定戦でターゲットを見据える大川主将

男子は1部Bブロックで5戦全勝、3年連続9回目の優勝校決定戦へと進出した。5月8日に行われた決定戦は、Aブロック1位の日体大と対戦し385-213で768で苦しい敗戦となった。

専大初の優勝をこれまで幾度となく阻んできた日体大。大川輝晃主将 (経営4・大宮開成高) も「何度も負けている相手

勝利。続く中大戦は第1ピリオドから迫る展開となるが、渡辺竜之佑主将、國分大輔 (経営4・名古屋大谷高) が大事な場面でのリバウンド、得点でチームを救い80-76で逆転勝利した。」 (高岡要・経済2)



▲ 切れのある走りで敵陣を突破する野口 (流经大戦)

## 力見せ準優勝

### 決勝惜敗

専大はリーグ戦1部の各チームを圧倒し、準優勝となった。

激しい風雨の中で開始された中大との初戦は前半で広げた点差を守りきり、33-21で勝利する。次戦で拓大に22-0で完勝すると、準決勝の相手は、昨秋のリーグ戦で大敗を喫した流经大。試合は開始直後から2

SEVENAS IDE (関東大学ラグビーリーグ戦セブンス大会) 4月17日、拓大・八王子ラグウンド

専大はリーグ戦1部の各チームを圧倒し、準優勝となった。

激しい風雨の中で開始された中大との初戦は前半で広げた点差を守りきり、33-21で勝利する。次戦で拓大に22-0で完勝すると、準決勝の相手は、昨秋のリーグ戦で大敗を喫した流经大。試合は開始直後から2

## 6種目総合 団体3位



▲ 大橋・アルティスタ号

東都学生馬術大会 4月8〜10日、JRA馬事公苑

複合馬術競技、学生賞

結果を残し、6種目では



団体3位となった。初日の新人障害馬術競技では鈴木航 (商1・聖パウロ学園高) ・アルティスタ号が素晴らしい走りを見せ、3位に入賞。最終日の標準障害馬術競技では大橋実央 (経済3・愛工大名電高) ・アルティスタ号が6位入賞を果たした。

齊藤景太 (経営3・札幌光星高) は「経験が浅いチームで、今大会で多くの課題が見つかった。関東学生馬術選手権まで目に見えたい」と次を見据えていた。」 (大河原佳也・文2)

候でミスが起きやすいコディションだったが、専大らしい試合ができた。春季大会は今年も全勝して連覇を果たした」と語った。

(木村健人・商3 写真)

関西ラグビーまつり 4月24日、大阪・花園ラグビー場

関西ラグビーまつり 4月24日、大阪・花園ラグビー場

関西ラグビーまつり 4月24日、大阪・花園ラグビー場

国際大会 出場選手

馬術部 大當祥貴 (商3・栗東高) 世界大学選手権 (6月27〜7月4日、スウェーデン・フリンジ) ※日本代表

メインゲーム「関西学生代表VS関東大学リーグ戦代表」に西村龍馬 (経営3・高鍋高 写真) が出場。15-43で試合には敗れたが、堂々と

- ◇アーチェリー部
- ▽全日本学生東日本大会 5月28-29日 (宮城県秋保リゾートホテルクレセント森林スポーツ公園)
- ◇ゴルフ部 (男子)
- ▽関東大学春季A・Bブロック対抗戦 5月24、25日 (栃木県・烏山城カントリークラブ)
- ◇柔道部
- ▽関東学生柔道優勝大会 5月22日 (埼玉武道館)
- ◇パドミントン部
- ▽関東学生選手権 6月6〜19日 (東京都、埼玉県、神奈川県)
- ◇フェンシング部
- ▽関東学生リーグ戦 5月17〜24日 (駒沢体育館)
- ◇レスリング部
- ▽全日本選抜選手権 5月27〜29日 (代々木第二体育館)